

“今の自分だからできたこと”

笹 麻美

私がこのプログラムを知ったのは一昨年でした。私も応募しようと思いましたが、ホームステイをする自信がなかったので、去年4月にホストファミリーだけを引き受けました。私の家に来たグアム生はとても優しく、グアムについてたくさん話してくれました。「グアムの歴史や文化についてもっと詳しく知りたい」「今の自分の英語力を試してみたい」と思い、今年こそは！と応募しました。

グアム空港に到着して「グアムに着いた！」と実感したのは空港の窓から見えた青い海とヤシの木、そして『Hafa Adai! WELCOME TO GUAM』書いてあったことでした。空港にはグアム生が出迎えてくれました。私のホストステューデントの Mia は『Welcome to Guam Mami Sasa』と書かれた大きな紙と貝のレイを首にさげてくれました。その後、恋人岬とチャモロビレッジに行き、一日はあつと言う間に過ぎてしまいました。26日はSF. Schoolの授業に参加し、午後はパフォーマンスをしました。グアム生はとても親切で、そして何よりフレンドリーですぐに友達ができました。27日は学校の朝礼に参加して、その後イナラハン文化村とフルーツワールドに行きました。私の一番の思い出は放課後です。Miaは学校で音楽を習っていて、私も一緒に参加しました。踊ったり、歌ったり、ココナッツの楽器を使ったり…他の柏生とはまた違う体験をしました。グアム生はとても歌を歌うのが大好きでソプラノ、アルト、テノールがきれいにハモっていた事が印象的でした。28日と29日はビーチや買い物に行ったりしました。



ついに最後の日。学校みんなにお別れを言うのがとても辛くて、気がついた時には涙がこぼれ落ちていました。そんな私を見て「またグアムにおいで！」とか「また会おう！」と言ってくれたことが嬉しかった。空港に向かう途中 Miaのお母さんを見てまた泣き出しそうになり、こらえるのに精一杯でした。最後は笑顔で、みんなが見えなくなるまで手を振りました。グアムの空港の窓から見えた美しい青い海とヤシの木を目に焼きつけて私のグアムの6日間は幕を閉じました。

6日間の思い出は書ききれない程あります。書ききれない程の思い出ができたのは、KIRAの皆さんやグアムの学校の先生や生徒、ホストファミリー、引率して下さった松本さんと槌尾さんのおかげです。そして何よりずっと支えてくれた両親に感謝したいです。今まで家族と海外旅行にいった時は、本当に自分では何も苦勞せずに過ごしていました。が、今回のこの大切な経験を将来につなげていけるといいなと思います。

今回の6日間で、一番大切なのは“言葉より気持ち”だと思いました。でも、その気持ちを伝えるためには勇気を出して話す事が必要だと改めて感じました。今月末に日本に来るグアム生に日本の事、柏の事、家族の事、友達の事・・・たくさん会話して、思い出に残る体験をさせてあげたいと思います。